

近畿厚生局長 殿

学校法人兵庫医科大学
理事長 新家 莊平

印

兵庫医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	154.7人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	605人	200人	640.9人	看護補助者	118人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	18人	14人	24.6人	理学療法士	25人	臨床検査技師	94人
薬剤師	64人	1人	64.3人	作業療法士	12人	臨床検査衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	30人	1人	30.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	875人	20人	887.4人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	3人	0人	3.0人	栄養士	0人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	5人	0人	5.0人	歯科技工士	3人	事務職員	229人
管理栄養士	9人	1人	9.4人	診療放射線技師	48人	その他の職員	36人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	727.0人	8.8人	735.8人
1日当たり平均外来患者数	2,304.0人	105.2人	2,409.2人
1日当たり平均調剤数			1,025.00剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

近畿厚生局
24.10.-5
第1005-号
第31

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	0人 期間内11人 継続治療中
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	50人
先天性難聴の遺伝子診断	1人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	33人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	59人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	76人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	68人	・広範脊柱管狭窄症	69人
・重症筋無力症	96人	・原発性胆汁性肝硬変	38人
・全身性エリテマトーデス	356人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	27人
・再生不良性貧血	60人	・混合性結合組織病	46人
・サルコイドーシス	42人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・特発性間質性肺炎	7人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	251人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	87人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	32人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	1,105人	・神経線維腫症	9人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	14人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	58人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	858人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	27人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	208人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	22人
・後縦靭帯骨化症	67人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ワイリス動脈輪閉塞症)	14人	・ミトコンドリア病	0人
・クェゲナー肉芽腫症	12人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	70人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	21人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	108人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

⑤「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	原則毎週水曜日に開催している 1カ月間の平均回数は3回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 45 例 / 剖検率 7.50%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
灌流法により採取された骨髄細胞を用いた骨髄内骨髄移植療法：基礎から臨床へ	小川啓恭	内科 血液内科	680,000	補委 厚生労働省
HLA不適合血縁者間移植の安全性および有効性向上のための包括的研究	小川啓恭	内科 血液内科	1,000,000	補委 厚生労働省
造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	池亀和博	内科 血液内科	500,000	補委 厚生労働省
ヒト白血球抗原半合致造血幹細胞移植両方の安全性確立に向けての研究	小川啓恭	内科 血液内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
自己免疫疾患に関する調査研究	佐野 統	内科 リウマチ・ 膠原病科	2,000,000	補委 厚生労働省
シェーグレン症候群の口腔内病変における唾液中EGF産生能	東 直人	内科 リウマチ・ 膠原病科	1,560,000	補委 文部科学省
血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究	西口修平	内科 肝・胆・膵 科	24,000,000	補委 厚生労働省
肝がんの新規治療法に関する研究	西口修平	内科 肝・胆・膵 科	2,000,000	補委 厚生労働省
B型肝炎の核酸アナログ薬治療における治療中止基準の作成と治療中止を目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究	齋藤正紀	内科 肝・胆・膵 科	1,500,000	補委 厚生労働省
ウイルス性肝疾患患者の食事・運動療法とアウトカム評価に関する研究	西口修平	内科 肝・胆・膵 科	3,000,000	補委 厚生労働省
肝癌由来増殖因子の発現制御およびシグナル伝達調節による肝癌増殖制御法の開発	榎本平之	内科 肝・胆・膵 科	910,000	補委 日本学術振興会
ウイルス消失例からの肝癌発症の臨床病態と発がん予測因子の同定	西口修平	内科 肝・胆・膵 科	1,560,000	補委 日本学術振興会
C型肝炎患者の治療中のセルフマネジメントを促すグループ介入プログラムの効果の検証	岩井孝史	内科 肝・胆・膵 科	130,000	補委 日本学術振興会
腹部症状発現の分子メカニズムの解明ー神経炎症と粘膜透過症の食道症状への関わりー	三輪洋人	内科 上部消化管 科	900,000	補委 日本学術振興会
胃癌の発生と進展におけるタイト結合蛋白クローデインの機能解析	大島忠之	内科 上部消化管 科	900,000	補委 日本学術振興会
日米共同研究によるバレット食道の発生ならびに抑制機序の解明	渡 二郎	内科 上部消化管 科	1,100,000	補委 日本学術振興会
Reg蛋白の消化管粘膜保護作用に関する研究	福井広一	内科 上部消化管 科	4,100,000	補委 日本学術振興会

小計
17

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
慢性ストレス誘発性のラット消化管知覚過敏モデルの作成と中枢性オキシトシンの効果	近藤 隆	内科 上部消化管科	1,300,000	補委 日本学術振興会
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	松本 譽之	内科 下部消化管科	1,500,000	補委 厚生労働省
悪性中皮腫のプロファイリングによる新規分子標的の同定	中野 孝司	内科 呼吸器・RCU科	12,000,000	補委 文部科学省
クロシドライト（青石綿）による中皮細胞癌化プロセスの進行予測指標に関する研究	中野 孝司	内科 呼吸器・RCU科	5,000,000	補委 一般財団法人 厚生会
ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)を用いた悪性胸膜中皮腫に対する効果的治療法の開発研究	中野 孝司	内科 呼吸器・RCU科	3,000,000	補委 厚生労働省
肺線維症などの難治性肺疾患に対する新規治療開発	田端 千春	内科 呼吸器・RCU科	1,950,000	補委 日本学術振興会
強迫性障害の新規分類基準の生物学的妥当性臨床の有用性に関する検討	松永 寿人	精神科神経科	910,000	補委 日本学術振興会
外科手術による癒着・線維形成過程の分子機構解析と制御法開発と探索医療への展望	藤元 治朗	外科 肝・胆・膵外科	6,370,000	補委 日本学術振興会
胆管細胞癌に対する新生血管・リンパ管および腫瘍内間質を標的とした分子治療研究	平野 公通	外科 肝・胆・膵外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
肝組織の恒常維持・修復機構における中心的存在としての肝星細胞の役割解明とその応用	飯室 勇二	外科 肝・胆・膵外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
Plakin Family 蛋白発現制御による肝内胆管癌治療戦略	宇山 直樹	外科 肝・胆・膵外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん（スキルス胃がんなど）に対する標準的治療の確立に関する研究	笹子 三津留	外科 上部消化管外科	24,880,000	補委 厚生労働省
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	菊池 正二郎	外科 上部消化管外科	1,800,000	補委 厚生労働省
散在性大腸癌発生における塩基除去修復遺伝子MYHの関与の解明と臨床応用への展開	久野 隆史	外科 下部消化管外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
ケモカインCCL21と腫瘍溶解アデノウイルスを用いた新しい癌ワクチン療法の開発	山野 智基	外科 下部消化管外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
炎症を母地とする非定型消化器癌の発癌機構の解明と早期診断バイオマーカの開発	松原 長秀	外科 下部消化管外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
スプライシング因子阻害剤とヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の併用効果の検討	富田 尚裕	外科 下部消化管外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞は組織腸管上皮幹細胞を支配するのか	野瀬 聡子	外科 小児外科	1,560,000	補委 文部科学省
悪性胸膜中皮腫における抗IL-6受容体抗体療法の開発	松本 成司	呼吸器外科	2,600,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大腸癌肺転移切除例における末梢血液中循環腫瘍細胞および内皮細胞の臨床的意義の検討	橋本昌樹	呼吸器外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
切除可能悪性胸膜中皮腫に対する集学的治療法の確立に関する研究	長谷川誠紀	呼吸器外科	700,000	補委 厚生労働省
胸部悪性腫瘍における末梢血液中循環腫瘍細胞の新規検出システムの構築	米田和恵	呼吸器外科	500,000	補委 日本学術振興会
閉鎖陰圧療法における神経の役割に関する研究及び臨床への応用	藤原敏宏	形成外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
骨肉腫の化学療法と免疫療法の有効性向上に関する研究	麩谷博之	整形外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
坐骨神経痛発現メカニズムにおける脊髄グリア細胞活性化の寄与	橋俊哉	整形外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
魚鱗癬様紅皮症の病態に関する研究	山西清文	皮膚科	1,950,000	補委 日本学術振興会
炎症性皮膚疾患におけるIL-33の免疫学的解析	今井康友	皮膚科	1,170,000	補委 文部科学省
アレルギー性皮膚疾患におけるnuocyteの免疫学的解析	羽田孝司	皮膚科	1,300,000	補委 文部科学省
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	山西清文	皮膚科	1,000,000	補委 厚生労働省
致死性骨異形成症の診断と予後に関する研究	澤井英明	産科婦人科	9,360,000	補委 厚生労働省
甲状腺眼症の病態解明と新規治療法の確立	三村治	眼科	2,080,000	補委 日本学術振興会
胃静脈瘤に対するB-RT0後の肝機能改善のメカニズムの解明	廣田省三	放射線科	700,000	補委 日本学術振興会
進行肝細胞癌に対する、標準的肝動注化学療法の確立に関する多施設共同研究	廣田省三	放射線科	50,000	補委 日本学術振興会
放射線直腸粘膜障害に対する予防と治療—直腸挿入亜鉛製剤の設計と評価—	上紺屋憲彦	放射線科	600,000	補委 日本学術振興会
新生児の脳発達に伴う脳回及び容積の測定と虚血性脳疾患での評価	石蔵礼一	放射線科	500,000	補委 日本学術振興会
Gorlin症候群の病態解明と治療法確立のための臨床的研究	野口一馬	歯科口腔外科	1,000,000	補委 厚生労働省
高度侵襲下のインスリン抵抗性に関するIL-18の影響と雌雄差の検討	小谷穰治	救命救急センター	1,820,000	補委 日本学術振興会
超音波医学を駆使した慢性肝炎および非アルコール性脂肪性肝炎の非侵襲的診断法の開発	飯島尋子	超音波センター	4,420,000	補委 日本学術振興会

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
造影超音波による進行肝癌に対する分子標的薬の早期効果判定法の開発	田 中 弘 教	超音波センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
計算解剖モデルに基づく診断支援	福 岡 和 也	がんセンター	650,000	補委 文部科学省
多様なレセプターチロシンキナーゼ遺伝子変異の消化管間質腫瘍の病態への影響	廣 田 誠 一	病院病理部	7,280,000	補委 日本学術振興会
麻酔薬相互作用の神経ネットワーク並行回路近似による解析	上 農 喜 朗	手術センター	1,170,000	補委 日本学術振興会

小計 4
合計 59

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol 2011; 93: 243-6	Successful treatment with nilotinib after imatinib failure in a CML patient with a four-way Ph chromosome translocation and point mutations in BCR/ABL gene	岡田昌也	内科 血液内科
Exp Hematol 2011;39:880-90	Allogeneic stem cell transplantation as treatment for heavily treated, refractory acute graft-versus-host disease after HLA-mismatched stem cell transplantation.	池亀和博	内科 血液内科
Int J Hematol 2011;94:403-7	Strategy for bone marrow transplantation in ecilizumab-treated paroxysmal nocturnal hemoglobinuria. Int J Hematol 2011;94:403-7	小川啓恭	内科 血液内科
Leukemia 2011; 25: 259-65	A decision analysis of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in adult patients with Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first remission who have an HLA-matched sibling donor.	小川啓恭	内科 血液内科
Int J Hematol 2011;93:523-31	Use of mycophenolate mofetil in patients received allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in Japan.	小川啓恭	内科 血液内科
J Cell Physiol 2011;226:762-8	Arsenic trioxide induces apoptosis through JNK and ERK in human mesothelioma cells	江口良二	内科 血液内科
Inflamm Regen 2011;31:307-15	Therapy of autoimmune diseases by novel immunosuppressant FTY720	常見幸	内科 リウマチ・膠原病科
日本高齢消化器病学会誌 2011;13:77-82	当院における高齢者の胃切除後患者に対する胆膵内視鏡治療の現状	岩田恵典	内科 肝・胆・膵科
日本臨床 2011:201-5	C型肝炎 C型慢性肝炎に対する治療学の進歩 C型慢性肝炎に対するインターフェロン療法 PEG-IFN・リバビリン併用療法を中心に血小板低値例に対するIFN療法脾摘術の功罪	會澤信弘	内科 肝・胆・膵科
消化器内科 2011:314-21	C型慢性肝炎におけるミトコンドリア遺伝子異常とインスリン抵抗性	會澤信弘	内科 肝・胆・膵科
日本消化器病学会誌 2011;108:215-22	核酸アナログ/IFN sequential治療の有用性とその限界	西口修平	内科 肝・胆・膵科
消化器内科 2011;52:115-9	B型慢性肝炎に対する核酸アナログ/IFN sequential治療の有用性	西口修平	内科 肝・胆・膵科
消化器内科 2011;53:335-342	C型代償性肝硬変に対するペグインターフェロンα-2a (40KD) とリバビリン併用療法の有効性および安全性の検討-臨床第Ⅱ/Ⅲ相試験-	西口修平	内科 肝・胆・膵科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Chem Commun (Camb) 2011;28:12113-5	Shedding light on hidden reaction pathways in radical polymerization by a porous coordination network	西 口 修 平	内科 肝・胆・膵科
Hepatol Int 2011;5:559-66	Long-term interferon therapy after radiofrequency ablation is effective in treating patients with HCV-associated hepatocellular carcinoma	下 村 壯 治	内科 肝・胆・膵科
Hepatol Res. 2011;221872-034	Combination of hepatitis B viral antigens and DNA for prediction of relapse after discontinuation of nucleos(t)ide analogs in patients with chronic hepatitis B	西 口 修 平	内科 肝・胆・膵科
Hepatol Res. 2011;26:1872-034	Anticarcinogenic impact of interferon therapy on the progression of hepatocellular carcinoma in patients with chronic viral infection	下 村 壯 治	内科 肝・胆・膵科
J Hepatol. 2011;56:85-94	Development of a new in situ hybridization method for the detection of global bacterial DNA to provide early evidence of a bacterial infection in spontaneous bacterial peritonitis	榎 本 平 之	内科 肝・胆・膵科
Journal of interferon & cytokine research 2011;31:589-99.	Investigation of Interferon- α Response by a Single Amino Acid Substitution of Nonstructural Protein 5A in Hepatitis C Virus-Infected Patients	西 口 修 平	内科 肝・胆・膵科
Hum Mol Genet. 2011;20:3507-16	Genome-wide association study identified ITPA/DDRGK1 variants reflecting thrombocytopenia in pegylated interferon and ribavirin therapy for chronic hepatitis C	西 口 修 平	内科 肝・胆・膵科
Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi. 2011;108(2):215-22	Sequential therapy with a nucleos(t)ide analogue and interferon in patients with chronic hepatitis B: efficacy and limitations	西 口 修 平	内科 肝・胆・膵科
Curr Res in Gastroenterology & Hepatology 2011;5:11-25	The role of hepatoma-derived growth factor (HDGF) in cancer development and progression.	榎 本 平 之	内科 肝・胆・膵科
Curr Res in Gastroenterology & Hepatology 2011;5:19-26	Role of Hepatoma-derived growth factor (HDGF) in Hepatocellular carcinoma.	榎 本 平 之	内科 肝・胆・膵科
内科 2011;108(4):734	Caroli病の1例	岩 田 恵 典	内科 肝・胆・膵科
消化器内視鏡 2011;23(5):951-959	SM浸潤の可能性のある大腸癌に対するESDの注意点	岩 田 恵 典	内科 肝・胆・膵科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncol Rep 2010;24:1479-86	GR0 α promotes invasion of colorectal cancer cells	福井 広一	内科 上部消化管科
Lab Invest 2011;90:496-505	Involvement of the IL-22/REG Ialpha axis in ulcerative colitis	福井 広一	内科 上部消化管科
J Clin Gastroenterol 2011;45:e54-9	Outcomes of Treatment of Argon Plasma Coagulation Therapy in Elderly or High-risk Patients With Early Gastric Cancer: A Comparison of Outcomes Among Experienced and Nonexperienced Endoscopists	富田 寿彦	内科 上部消化管科
Am J Physiol Cell Physiol 2011;300:C1422-9	Establishment of esophageal like non-keratinized stratified epithelium using normal human bronchial epithelial cells.	大島 忠之	内科 上部消化管科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 2011;301:G203-9	Acidic bile salts modulate the squamous epithelial barrier function by modulating tight junction proteins.	三輪 洋人	内科 上部消化管科
BMC Med Genet 2011;12:88	Serotonin transporter gene polymorphism may be associated with functional dyspepsia in a Japanese population	豊島 史彦	内科 上部消化管科
J Clin Gastroenterol 2011;45:507-13	Endoscopic autofluorescence imaging is useful for the differential diagnosis of intestinal lymphomas resembling lymphoid hyperplasia.	渡 二郎	内科 上部消化管科
Journal of Clinical Apheresis 2011;26:326-31	Optimal apheresis treatment volume for the efficacy and safety of leukocytapheresis with Cellsorba in patients with active ulcerative colitis	松本 譽之	内科 下部消化管科
Cytokine 2011;56:466-70	The CD4+CD28null and the regulatory CD4+CD25High T-cell phenotypes in patients with ulcerative colitis during active and quiescent disease, and following colectomy	松本 譽之	内科 下部消化管科
Gut and Liver 2011;5:37-45	Infliximab Therapy Impacts the Peripheral Immune-system of Immunomodulator and Corticosteroid Naïve Patients with Crohn's Disease	松本 譽之	内科 下部消化管科
日本大腸検査学会雑誌 2011;28:33-9	炎症性腸疾患を中心に大腸内視鏡挿入困難例に対するオリンパス社製超細径高伝達湾曲スコープ“PCF-Y0005-L”の使用経験	松本 譽之	内科 下部消化管科
医療 2011;65:22-5	悪性胸膜中皮腫の臨床診断と治療の現状	中野 孝司	内科 呼吸器・RCU科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
呼吸器内科 2011;20:335-42	悪性胸膜中皮腫診療ガイドライン	中野孝司	内科 呼吸器・RCU科
呼吸 2011;30:935-6	未知なる胸腔・中皮細胞	中野孝司	内科 呼吸器・RCU科
Respir Med. 2011;105:137-42	Pleural effusion VEGF levels as a prognostic factor of malignant pleural mesothelioma	田端千春	内科 呼吸器・RCU科
Antioxid Redox Signal 2011;15:685-9	Is serum thioredoxin-1 a useful clinical marker for malignant pleural mesothelioma?	田端千春	内科 呼吸器・RCU科
Clin Chem Lab Med 201;49:1721-6	Clinical significance of pleural effusion mesothelin in malignant pleural mesothelioma	田端千春	内科 呼吸器・RCU科
Cell Physiol Biochem 2011;27:71-8	Adenosine activates AMPK to phosphorylate Bcl-XL responsible for mitochondrial damage and DIABLO release in YuH-7 cells	中野孝司	内科 呼吸器・RCU科
Cell Physiol Biochem 2011;28:761-70	Adenosine promotes GATA-2-regulated p53 gene transcription to induce HepG2 cell apoptosis	中野孝司	内科 呼吸器・RCU科
Cell Physiol Biochem 2011;39:1365-74	Frequent deletion of 3p21.1 region carrying semaphorin 3G and aberrant expression of the genes participating in semaphorin signaling in the epithelioid type of malignant mesothelioma cells	中野孝司	内科 呼吸器・RCU科
Blood Purif 2011;32:317-22	Effectiveness of β 2-microglobulin adsorption column in treating dialysis-related amyloidosis: a multicenter study	倉賀野隆裕	内科 腎・透析科
J Clin Neurosci 2011;18:478-80	Therapeutic efficacy of double filtration plasmapheresis in patients with anti-aquaporin-4 antibody-positive multiple sclerosis	中西健	内科 腎・透析科
金剛出版, 2011:116-23	強迫性障害(OCD)とうつ。うつ病ハンドブック	松永寿人	精神科神経科

小計

11

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
中山書店, 2011 :190-7	強迫性障害の薬物療法. 専門医のための精神科臨床リュミエール 25. 向精神病薬のリスク・ベネフィット	松 永 寿 人	精神科神経科
シナジー, 2011:284-91	脳とこころのプライマリケア 第6巻 幻覚と妄想	清 野 仁 美	精神科神経科
精神科治療学2011;26(増刊):56-67	強迫性障害「神経症性障害の治療ガイドライン」	松 永 寿 人	精神科神経科
臨床精神薬理 2011;14:567-76	強迫スペクトラム障害の概念とその病態, 最新の動向.	松 永 寿 人	精神科神経科
日本精神科病院協会雑誌 2011;30:38-43	強迫性障害とその治療	林 田 和 久	精神科神経科
日本精神科病院協会雑誌 2011;30:52-6	神経症とうつ病-合併例の特徴と対処.	松 永 寿 人	精神科神経科
Depression and anxiety. 2011;1 :3-5	強迫スペクトラム障害の概要, そして動向.	松 永 寿 人	精神科神経科
臨床精神薬理 2011 ;14:1025-31	強迫性障害の最新薬物治療ガイドライン.	松 永 寿 人	精神科神経科
医学と薬学 2011;66:603-10	強迫性障害: 精神疾患の病態と診断・治療	松 永 寿 人	精神科神経科
精神神経学雑誌 2011;110:965-91	強迫スペクトラム障害の展望-DSM-5改定における動向を含めて-	松 永 寿 人	精神科神経科
精神神経学雑誌 2011;113:963-4	強迫スペクトラム障害の可能性と治療-DSM-5の動向と薬物療法を中心に-	松 永 寿 人	精神科神経科
CNS Drugs 2011;25 (special issue) :1-32	Proceedings of the two symposia held to celebrate the first anniversary of the launch of miltazapine in Japan.	松 永 寿 人	精神科神経科
臨床精神薬理 14:2011:77-91	強迫性障害患者におけるParoxetine塩酸塩水和物(パキシル®錠)の長期使用に関する安全性と有効性の評価 -強迫性障害に対する製造販売後調査成績より-	松 永 寿 人	精神科神経科
International Journal of Psychiatry in Practice 15:2011:263-9	A Case Series of Aripiprazole Augmentation of Selective Serotonin Reuptake Inhibitors in Treatment - Refractory Obsessive Compulsive Disorder	松 永 寿 人	精神科神経科
Psychiatry Clin Neurosci 2011;65:341-8	Correlations between the offensive subtype of social anxiety disorder and personality disorders	松 永 寿 人	精神科神経科
Hepato Res 2011;41:597-610	Toll-like receptor signaling in liver regeneration, fibrosis and carcinogenesis.	藤 元 治 朗	外科 肝・胆・膵外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床外科 2011; 66: 582-6	胃癌の外科治療に関する臨床試験	笹子三津留	外科 上部消化管外科
癌と化学療法 2011; 38: 1390-95	胃癌における術後補助化学療法の現状と今後の展望	堀高明	外科 上部消化管外科
J Infect Chemother 2011;17:52-7	Clinical characteristics of vancomycin minimum inhibitory concentration of 2 μ g/ml methicillin-resistant staphylococcus aureus strains isolated from patients with bacteremia	池内浩基	外科 下部消化管外科
World J Gastroenterol 2011;17:1174-9	Long-term efficacy of infliximab maintenance therapy for perianal Crohn's disease	内野基	外科 下部消化管外科
Dis Colon Rectum 2011; 54: 826-32	Application of an electrolyzed strongly acidic aqueous solution before wound closure in colorectal surgery	池内浩基	外科 下部消化管外科
Am J Surg Pathol 2011;35:212-20	Tubular adenomas with minor villous changes show molecular features characteristic of tubulovillous adenomas.	松原長秀	外科 下部消化管外科
Pediatr Surg Int 2011;27:39-45	Reliability of the lung to thorax transverse area ratio as a predictive parameter in fetuses with congenital diaphragmatic hernia.	奥山宏臣	外科 小児外科
Pediatr Surg Int 2011;27:373-8	The Japanese experience with prenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia based on a multi-institutional review.	奥山宏臣	外科 小児外科
Ultrasound Obstet Gynecol 2011;37:277-82	Re-evaluation of stomach position as a simple prognostic factor in fetal left congenital diaphragmatic hernia: a multicenter survey in Japan	奥山宏臣	外科 小児外科
Pediatr Surg Int 2011;27:799-804	The prognostic factors and the outcome of primary isolated fetal ascites.	奥山宏臣	外科 小児外科
J Pediatr Surg 2011;46:1873-80	Prenatal risk stratification for isolated congenital diaphragmatic hernia: results of a Japanese multicenter study	奥山宏臣	外科 小児外科
Pediatr Int 2011;53:887-91	Meconium-related ileus in extremely low-birthweight neonates: etiological considerations from histology and radiology	奥山宏臣	外科 小児外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Thorac Oncol. 2011;6:1304-12.	Recommendations for uniform definitions of surgical techniques for malignant pleural mesothelioma: a consensus report of the international association for the study of lung cancer international staging committee and the international mesothelioma interest group.	長谷川 誠 紀	呼吸器外科
胸部外科 2011:714-8	悪性胸膜中皮腫	長谷川 誠 紀	呼吸器外科
日本衛生学雑誌 2011;66:558-61	本邦における中皮腫臨床試験の現状と今後の展望	長谷川 誠 紀	呼吸器外科
Journal of Spine Research 2011;2:1188-91	脊椎手術後の難治性疼痛を有する患者に対する脊髄刺激療法の適応.	岡 田 文 明	整形外科
Journal of Spine Research 2011;2:1626-9	ボックス型ケージの頸椎前方固定術における有用性—頸椎椎間板ヘルニアに対する単椎間前方固定術での自家腸骨移植例との比較—	橘 俊 哉	整形外科
Hip Joint 2011;37:606-9	THAおよびTHA再置換時における術前造影CTでの大腿動脈の走行異常の検討	吉 矢 晋 一	整形外科
Hip Int 2011;21:457-62	Radiological classification of hip arthropathy associated with long-term haemodialysis	福 西 成 男	整形外科
J Arthroplasty 2011;26:1556-61	Analysis of weight-bearing kinematics of posterior-stabilized total knee arthroplasty with novel helical post-cam design.	吉 矢 晋 一	整形外科
J Orthop Sci 2011;16:171-6	Adjustment of leg length using imageless navigation THA software without a femoral tracker	福 西 成 男	整形外科
PLoS One 2011;6:e27106	Calcium-Based Nanoparticles Accelerate Skin Wound Healing	河 合 建 一 郎	形成外科
形成外科 2011;54:323-9	血管柄付き腓骨移植術と後脛骨動脈穿通枝皮弁を用いて一期的再建した下肢骨悪性腫瘍の1例	藤 田 和 敏	形成外科
J Dermatol Sci 2011;64:75-7	YKL-40(chitinase 3-like-1) as a biomarker for psoriasis vulgaris and pustular psoriasis.	今 井 康 友	皮膚科
J Am Acad Dermatol 2011;64:879-87	Markedly elevated serum levels of calcium-binding S100A8/A9 proteins in psoriatic arthritis are due to activated monocytes/macrophages	山 西 清 文	皮膚科
J Histochem Cytochem 2011;59:180-7	In situ detection of active transglutaminases for keratinocyte type (TGase 1) and tissue type (TGase 2) using fluorescence-labeled highly reactive substrate peptides	山 西 清 文	皮膚科
Exp Dermatol 2011;20:157-8	Propionibacterium acnes vaccination induces regulatory T cells and Th1 immune responses and improves mouse atopic dermatitis	今 井 康 友	皮膚科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
今日の移植 2011;24:300-2	ミゾリピンを使用した腎移植の長期成績	野 島 道 生	泌尿器科
臨床眼科 2011;65:415-8	先天性眼振の手術療法	三 村 治	眼科
眼科 2011;53:1182-8	代用眼球, ゴアテックスの利用	中 内 一 掲	眼科
眼科 2011;53:1516-20	眼筋移動術	木 村 亜 紀 子	眼科
日本磁気共鳴医学会雑誌 2011 ; 31 : 124-32	内臓動脈瘤に対するコイル塞栓術後の造影3D-MRI : 至適撮像条件に関する実験的検討	山 下 達 也	放射線科
日本磁気共鳴医学会雑誌 2011 ; 31 : 41-7	転移性脳腫瘍の3T装置におけるPRESTO法を用いたガンマナイフ治療前後の信号変化	若 田 ゆ き	放射線科
臨床放射線 2011 ; 56 : 878-83	当院におけるハイリスク膀胱癌症例に対する動注化学療法併用放射線治療の現状と検討	高 田 恵 広	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys 2011 ; 80 : 877-84	Efficacy of polaprezinc for acute radiation proctitis in a rat model	上 紺 屋 憲 彦	放射線科
臨床放射線 2011 ; 56 : 354-8	B-RT0における長時間留置法 (Overnight留置) の有用性 短時間法との比較.	小 林 薫	放射線科
Jpn J Med Phys 2011 ; 31 : 2-11	Cone-beam CTを用いた自動位置照合における治療計画用CT画像のスライス厚の検討.	井 上 裕 之	放射線科
日本集団災害医学会誌 2011;16:35-42	トリアージナンバとバーコードを利用した多数傷病者受入時のPACS運用システムの考案—放射線部門における多数傷病者受入時の対応—	源 貴 博	中央放射線部
J Hum Genet 2011;56: 277-83	Novel PTCH1 mutations in Japanese Nevroid basal cell carcinoma syndrome patients: two familial and three sporadic cases including the first Japanese patient with medulloblastoma	野 口 一 馬	歯科口腔外科
総合リハビリテーション 2011;39:367-72	外来診療におけるCI療法の実践報告	道 免 和 久	リハビリテーション部
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 2011; 15: 174-82	呼吸抵抗負荷トレーニングによる舌骨上筋群の筋力強化に関する検討	道 免 和 久	リハビリテーション部
兵庫作業療法学会誌 2011; 1: 14-9	造血幹細胞移植後の症例に対する作業療法の経験	道 免 和 久	リハビリテーション部
総合リハビリテーション 2011; 39:689-93	慢性期脳損傷児に対し, 2度目のConstraint-induced movement therapyを実施した経験	道 免 和 久	リハビリテーション部
作業療法ジャーナル 2011; 45: 1153-57	学童期に呈した脳外傷による上肢麻痺の長期経過~複数回のConstraint-induced movement therapyを通して~	道 免 和 久	リハビリテーション部
総合リハビリテーション 2011; 39: 1193-9	CI療法におけるTransfer Packageの短期的効果	道 免 和 久	リハビリテーション部

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
総合臨床 2011;60:43-8	慢性肝疾患の非侵襲的線維化診断法	飯 島 尋 子	超音波センター
肝胆脾画像 2011;13:31-6	超音波による組織弾性イメージング 肝線維化の画像診断	飯 島 尋 子	超音波センター
日本高齢消化器病学会誌 2011;13:170-4	超高齢肝癌患者に対するラジオ波熱凝 固療法	田 中 弘 教	超音波センター
Rad Fan 2011;9:63-5	肝臓の精密診断 肉眼型・分化度・進 展度診断 Sonazoid造影超音波検査に よる肝細胞癌の悪性度分類の有用性	田 中 弘 教	超音波センター
映像情報Medical 2011;43:380-5	肝腫瘍の超音波診断	田 中 弘 教	超音波センター
日本消化器病学会誌 2011;108:908-15	慢性肝疾患の画像診断の進歩-超音波検 査は組織診断に代わりうるか-	飯 島 尋 子	超音波センター
臨床消化器内科 2011;26:1205-12	腹部超音波検査の実際-診断手技, 検査 のコツ, 見落としのない検査法- (1) 肝臓	田 中 弘 教	超音波センター
Case Rep Gastroenterol 2011;5:628-35	Primary squamous cell carcinoma of the liver: an uncommon finding in contrast-enhanced ultrasonography imaging	飯 島 尋 子	超音波センター
日本衛生学会雑誌 2011;66:553-557	中皮腫に対する早期診断指標の探索的 研究	福 岡 和 也	がんセンター
Resuscitation 2012;83:365-8	Comparison of air-Q [®] and Soft Seal [®] laryngeal mask for airway management by novice doctors during infant chest compression: a manikin study.	上 農 喜 朗	手術センター
J Anesth. 2011;25:770-2	Backboard insertion in the operating table increases chest compression depth: a manikin study	上 農 喜 朗	手術センター
日本臨床麻酔学会誌 2011;31:400-5	シミュレータ教育の現状評価と将来 麻 酔シミュレーションの現在評価	上 農 喜 朗	手術センター
日本看護研究学会雑誌 2011;34:49-56	入院患者における自覚症状ならびにス トレス認知と心理的状態の関係	林 陽 子	看護部

小計
13合計
122

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 太城 力良
管理担当者氏名	管理課長 入佐 賢一、医事課長 小寺 斉人 病歴課長 佐藤 浩治、薬剤部長 木村 健

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課 病歴室 薬剤部	病歴資料のカルテは、入院カルテは1入院1カルテ、1患者1ファイル方式、外来カルテは科別カルテ方式とし、入院は永久保管、外来は8年保管としている。 エックス線フィルムは、科別ファイル方式とし、入院、外来ともに8年間保管している。 なお、平成21年3月16日より、画像保存通信システム(PACS)が稼働している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	/
	高度の医療の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	管理課	
	高度の医療の研修の実績	管理課	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部	
一規 項第 第一 号に 掲げ る第 一 項各 号及 び第 九 条の 第二 十三 第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	管理課	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 甲斐 義啓
閲覧担当者氏名	管理課長 入佐 賢一、医事課長 小寺 斉人 病歴課長 佐藤 浩治
閲覧の求めに応じる場所	管理課会議室、病歴室閲覧室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.1 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	20,526人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,207人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,190人	
	D: 初診の患者の数	33,935人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I. はじめに ー安全と信頼の医療の提供ー</p> <p>II. 医療安全管理体制確保のための委員会の組織規約</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理規程2. 医療安全管理委員会規程3. 医療事故緊急対応部会内規4. 医療事故等検討部会内規5. 医療事故外部調査委員会規程 近畿地区四私立医科大学外部調査委員会申し合わせ6. 医療安全管理部運用内規7. 医療安全管理者の業務指針8. 医療安全管理者の役割と業務9. セイフティマネージャーの設置及び業務規程10. 報告書類等<ol style="list-style-type: none">① 事故等報告範囲（日本医療機能評価機構への報告）② 医療事故ならびにインシデントの影響レベル（報告時点）③ 事実関係報告書④ 診療経過報告書⑤ 医療事故報告書（日本医療機能評価機構用）⑥ 事故発生届出書⑦ セイフティマネージャー選出届⑧ セイフティマネージャー変更届⑨ 任命書⑩ 通知書⑪ 医療事故発生時の対応方法 <p>III. 当院における医療安全管理体制図</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療事故・インシデント発生時の体制図2. インシデントレポートの流れ3. 医療事故発生時の対応フローチャート（発見者・当事者）4. 医療事故発生時の連絡網5. 医療事故発生時の対応フローチャート（セイフティマネージャー、所属長）6. 転倒事故発生時の対応フローチャート7. 点滴・注射施行時、事故発生時の対応フローチャート8. チューブ・カテーテル類の事故・自己抜去時の対応フローチャート9. 院内救急医療体制10. 患者が死亡した場合の解剖に係る手順11. アクシデント・クレーム発生時の対応ポイント <p>IV. 当院における異状死（異状死体）届出に関する基準</p> <p>V. 医療事故を起こした職員・当該部署職員への心理的支援について</p> <p>VI. 大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 41 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">① 医療安全管理委員会 12回② セイフティマネージャー連絡会 6回③ 医療事故緊急対応部会 0回④ 医療事故等検討部会 7回⑤ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議 16回	

① 医療安全管理委員会の開催状況

<平成23年4月13日開催>

- ・インシデント報告・年間報告
- ・事実関係報告・年間報告
- ・医療事故発生後の検証
- ・平成22年度 医療安全管理部 活動報告
- ・平成23年度 医療安全管理部 年間業務計画
- ・医療安全管理部会について
- ・アレルギー情報の取り扱いについて
- ・オーダーリングシステム・患者プロファイル画面における血液型表示の不具合について

<平成23年5月10日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・転倒転落アセスメントシートについて
- ・静脈注射施行時の注意事項について
- ・開放式気管内洗浄の実施について

<平成23年6月14日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・ドレーン洗浄に関する材料について
- ・4私大連絡会の報告
- ・医療安全強化月間の標語について
- ・卒後臨床研修センターの医療安全講演会参加取り扱いについて

<平成23年7月13日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・後腹膜からの脂肪乳剤誤投与事故に関する報告
- ・ドレーン洗浄に関する材料について
- ・静脈注射施行時の注意事項について

<平成23年8月10日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・医療事故発生後の検証
- ・医療事故防止スタンダードマニュアル等 改訂
- ・医薬品安全使用のための業務手順書 改訂
- ・強化月間活動報告

<平成23年9月14日開催>

医療安全管理委員会・セイフティマネージャー会合同会議

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・医療事故発生後の検証について
- ・医療事故防止スタンダードマニュアル等 改訂・追加
- ・中心静脈カテーテル挿入に関する事故防止スタンダードマニュアル改訂 (案)
- ・医療安全強化月間報告
- ・医療安全ニュース閲覧結果について
- ・医療講演会開催について

<平成23年10月12日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・手術・検査・処置等実施同意書について
- ・造血幹細胞移植時の血液オーダーについて
- ・医療事故発生後の検証について
- ・医療監視について

<平成23年11月1日開催>

医療安全管理委員会・セイフティマネージャー会合同会議

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・医療事故発生後の検証
- ・平成23年度医療監視について
- ・医療安全推進週間について

<平成23年12月14日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・アクシデントの発生要因と対策について
- ・医療監視報告について
- ・電子カルテ患者プロフィール入力方法について
- ・次期オーダーリングシステムについて
- ・医療事故発生後の検証
- ・「医療安全管理のための指針」訂正について
- ・医療事故事例検討会報告

<平成24年1月11日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・RCA分析結果について
- ・人工呼吸器の管理に関するスタンダードマニュアル改訂について
- ・私立医科大学病院相互ラウンドについて
- ・医療講演会について

<平成24年2月14日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・CVC調査票改訂について
- ・セラピスト吸引実施について
- ・医療事故発生後の検証
- ・私立医科大学病院相互ラウンド自己評価について

<平成24年3月14日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・医療安全管理のための指針 改訂
- ・兵庫医科大学病院における異状死（異状死体）届出に関する基準（案）
- ・診療行為に関連した足棒の調査分析モデル事業への対応（案）
- ・平成24年度 医療安全管理部 業務計画（案）
- ・水薬の払い出しについて（案）
- ・オーダー修正・削除について

② セイフティマネージャー連絡会の開催状況

<平成23年4月27日開催>

- ・インシデント報告・年間報告
- ・事実関係報告・年間報告
- ・平成22年度 医療安全管理部 活動報告
- ・平成23年度 医療安全管理部 年間業務計画

<平成23年7月5日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・局所持続洗浄（薬品請求・ルート）について
- ・転倒転落アセスメントシートについて
- ・静脈注射施行時の注意事項について
- ・開放式気管内洗浄の実施について

<平成23年9月14日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・医療事故発生後の検証について
- ・医療事故防止スタンダードマニュアル改訂・追加
- ・中心静脈カテーテル挿入に関する事故防止スタンダードマニュアル改訂（案）
- ・医療安全強化月間活動報告
- ・医療安全ニュース閲覧結果について
- ・医療講演会開催について

<平成23年11月1日開催>

医療安全管理委員会・セイフティマネージャー会合同会議

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・医療事故発生後の検証
- ・平成23年度医療監視について
- ・医療安全推進週間について

<平成24年1月26日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・人工呼吸器の管理に関するスタンダードマニュアル改訂について
- ・医療監視報告について
- ・患者プロフィール入力方法について
- ・医療講演会について
- ・平成23年度私立医科大学病院 医療相互ラウンドについて

<平成24年3月28日開催>

- ・インシデント報告、事実関係報告
- ・兵庫医科大学病院における異状死（異状死体）届出に関する基準（案）について
- ・新オーダーシステムの歴修正・歴削除について
- ・医療事故発生後の検証
- ・CVC調査票の改訂

③ 医療事故緊急対応部会の開催状況

④ 医療事故等検討部会の開催状況

<平成23年6月6日、6月14日、6月21日>

<平成24年3月7日、3月14日、3月21日、4月4日>

- ・医療事故への調査、原因分析、防止策の検討

⑤ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議の開催状況

<平成23年4月13日、5月31日、6月20日、7月14日、8月8日、8月11日、8月31日、9月9日、10月7日、11月8日、12月16日、12月26日、12月28日、平成24年2月6日、2月27日、3月13日>

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 51 回

・ 研修の主な内容：

・ 平成23年6月1日（水）

テーマ「医薬品・医療機器のリスクマネジメント」

ーセイフティ・トライアングルー

講師 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

上席審議役 丸山 浩

ビデオ補講7日間計10回（平成23年6月6日・7日・8日・9日・10日・13日・14日）

- ・平成23年5月11日（水）
テーマ「ME器機安全使用の基礎」
講師 兵庫医科大学病院 臨床工学技士 木村 政義
- ・平成23年10月13日（木）
テーマ「血流感染：診断・予防・治療」
講師 兵庫医科大学病院 感染制御部 中嶋 一彦

ビデオ補講4日間計7回（平成23年10月17日・18日・20日・21日）

- ・平成24年1月31日（木）
テーマ「苦情対策と医療安全」
講師 関西医科大学 医療安全管理センター
副センター長 宮崎 浩彰

ビデオ補講4日間計8回（平成24年1月6日・7日・8日・9日）

- ・平成23年度中途採用（コメディカル）者医療安全研修（合計14回）
平成23年6月4日、7月8日、8月11日・19日、11月14日・16日・24日、12月13日
平成23年12月14日・15日・20日・26日、平成24年1月18日・19日
受講者 33名

BLS講習会

- ・平成23年4月4日（月）・5日（火）
平成23年度採用臨床研修医対象 59名
- ・平成23年5月26日（木）・30日（月）
平成23年度採用新卒看護師対象 142名
- ・平成23年7月14日（木）・21日（木）
平成23年度採用既卒看護師対象 34名
- ・平成24年2月29日（水）・3月9日（金）
平成23年度中途採用看護師・コメディカル等対象 36名

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 有 無
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ① 発生したインシデント・アクシデントに対して、専任医師・統括・専従セイフティマネージャーが発生部門セイフティマネージャーとともに、内容分析、改善策の検討並びに患者への対応の指示を行っている。また、医療安全管理委員会委員及びセイフティマネージャーから構成される「オンラインインシデント検討会」を毎週開催し、各部門に改善策の助言・提案を行うことにしている。なお、必要に応じて「医療事故等検討部会」を開催し、医療事故等の原因を分析し、改善策の検討を行っている。
 - ② 報告のあった医療事故に対し、医療安全管理委員会等で原因を分析し、対応・改善策の検討を行っている。また、事故発生1ヶ月後・3ヶ月後（必要時6ヶ月後）に統括・専従セイフティマネージャーと当該部署のセイフティマネージャーで、改善策の実施状況を検証し、医療安全管理委員会に報告している。
 - ③ 発生したインシデント・アクシデント内容からテーマを設定し、看護部事故防止

(様式第13-2)

委員会・各部署のセイフティマネージャーと協働して、院内監査ラウンドなどを実施している。	
④ 医療安全強化月間にテーマに決め、各部署の安全への取り組みを支援している。	
⑤ 医療安全ニュースを月2回発行し、当院のインシデント・アクシデント情報・再発防止策・事故後の検証結果、他施設の事件事例、医療安全情報（厚生労働省・学会・PMDA等）などを掲載し、職員に周知している。	
⑥ 職種別研修でも当院で発生したインシデント・アクシデントを教材にし、事故分析（RCA）やKYT訓練を行っている。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 3 名） ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 3 名） ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任（ 4 ）名 兼任（ 8 ）名	
・ 活動の主な内容： ① 安全管理体制の構築：委員会の運営、指針・マニュアルの改訂など ② 医療事故を防止するための情報収集、分析、改善策の立案、フィードバック、評価 ③ 改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言 ④ 安全管理対策の実施状況の調査、分析 ⑤ セイフティマネージャーの活動支援 ⑥ 医療安全に関する職員への教育・研修の実施 ⑦ 医療事故への対応：届出・公表を含む事故発生後の対応、事故の要因分析	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 感染管理体制(感染管理機構、専任感染管理担当者の役割について、感染制御部へのコンサルテーション)</p> <p>② 感染症発生時の報告と解除(院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の報告(緊急連絡を要する微生物検査を含む)、感染症法に基づく届出及び院内の感染症報告書が必要な疾患、感染解除報告)</p> <p>③ 病院感染管理上重要な病原体・感染症に対する感染制御の対応</p> <p>④ アウトブレイク発生時の対応</p>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院感染対策に関する事項を調査・審議し、院内感染症発生時の原因の分析、改善策の立案、実践、周知等感染管理を推進している。なお、必要があるときには臨時で開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 28 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>病院感染制御に対する基本的な考え方及び具体的施策の周知、業務を遂行するうえでの知識・技能の向上及び病院感染制御に対する意識の高揚を目的として、教育・研修を実施している。</p> <p>① 病院感染制御をテーマとする講演会を開催(全職員対象)</p> <p>② 看護師ラダーレベル別研修、リンクナースを対象とした感染制御に関する研修を実施</p> <p>③ 清掃職員(委託業者)を対象とした病院感染制御の基本について研修を実施</p> <p>④ 院内感染の増加が疑わしい場合、または確認された場合は、施設全体または部署や職種を限定して院内感染対策に関する教育・指導を実施</p> <p>⑤ 手洗い実技指導(全職員)</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無)</p> <p>感染症発生時は「院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の流れ」に沿って感染症報告書により主治医が報告を行う。(緊急連絡を要する場合は検査部より主科および感染制御部へ電話で連絡)感染症が改善した場合は「感染症解除報告」に沿って感染症解除報告書を提出する。報告すべき感染症は、感染症新法、結核予防法、食品衛生法に基づく疾患及び院内感染管理上、迅速に対策を行う必要があるものとする。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症発生に係る報告、連絡があった事例は「感染症または病原体の検出種類によるレベル分類」に基づき感染制御部が対応し、必要があれば感染対策委員会で審議し対策を講ずる。また、アウトブレイクを疑う事例が発生した場合は、「アウトブレイク発生時の対応」に基づき対応し、アウトブレイクの可能性が高いと判断した場合、感染制御部は感染対策委員会委員長に報告し、臨時の委員会を開催し対策について協議する。患者個々の抗菌薬治療に関して、主治医からのコンサルテーションにより感染制御部と協議する。広域グラム陰性菌治療薬の使用割合をAUDで調査し、カルバペネム系25%、タゾバクタム/ピペラシリン25%、その他の広域βラクタム薬35%、ニューキノロン系15%を目標として使用割合をコントロールし、抗菌薬の適正使用を推進する。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (臨床研修医オリエンテーション) <平成23年4月5日(火)> ・ 医薬品の適正使用・薬物の相互作用 (病院全職員対象講演会) <平成23年10月13日(木)> テーマ 「麻薬の適正な取り扱いについて」 講師 兵庫医科大学病院 薬剤部 室 親明 ビデオ補講4日間計7回(平成23年10月17日・18日・20日・21日) 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院で用いる医薬品の採用・購入などに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 採用医薬品の選定と見直し 採用医薬品の安全性・取り間違い防止に関する検討 採用医薬品情報の作成・提供 医薬品の発注 医薬品の入庫管理と伝票管理 2. 医薬品の管理に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 医薬品棚の配置と医薬品の充填 規制医薬品(麻薬、覚せい剤原料、向精神薬(第1種、第2種)、毒薬) 病棟・各部門への医薬品の供給 病棟等の配置医薬品の管理 医薬品の品質管理 処置薬の管理 救急カートの医薬品管理 輸血用血液製剤の保管・管理 放射性医薬品・危険物の管理 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 患者情報の内容および収集・管理、活用について 入院時の使用医薬品の確認 医薬品の使用に関する指示出しと指示受け 処方せんの取り扱い 特に安全管理が必要な医薬品の処方 病棟における処方変更時の対応 処方せんの点検 調剤 院外処方せんの取り扱い TPNの調製 抗悪性腫瘍剤の調製 がん化学療法におけるレジメンの管理 	

<p>4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 投与 服薬指導 投与後の経過観察 医薬品使用による患者容態急変時の応援体制 副作用発現時の対応</p> <p>5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 医薬品情報の収集・管理 医薬品情報の提供 各部門、各職種等からの問い合わせに対する体制整備 患者への薬剤情報提供及び問い合わせに対する対応</p> <p>6. 他施設との連携に関する事項 他施設からの問い合わせ等に関する体制整備 院外処方せんの発行に関する事項 緊急連絡のための体制整備</p>
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p>
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) 病棟担当薬剤師から副作用情報の収集 プレアボイド報告の収集 医療安全全国共同行動への参加 (危険薬の誤投与防止) 調剤システム更新に伴う処方箋・薬袋印字の改善への取り組み 術前・検査前に休薬を要する薬剤一覧表の改訂</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 定期的な医薬品の整理 (平成23年10月に57品目の削除)</p>

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 83 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>以下の機器の取り扱い方法・安全対策について研修を行った</p> <p>人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・補助循環装置・保育器・輸液ポンプ・医療ガス・放射線機器 等</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 (有 ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>以下の装置に対しては定期点検を実施している</p> <p>人工呼吸器・血液透析装置・血液浄化装置・補助循環装置・保育器・麻酔器・体外式ペースメーカー・輸液ポンプ・シリンジポンプ・除細動器・電気メス・ベッドサイドモニタ</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他院における炭酸ガス後接続の報道を受けて、当院の炭酸ガスボンベ運用体制について見直しを行った。 ・ N I C UにおけるNO投与回路の人工呼吸器装着部位間違えのインシデント対して改善策を実行した。 ・ 酸素ボンベの破損によるメータの不良が生じ、『医療安全ニュース2011年度第20号』で周知喚起を行った。 	